

新年あいさつ



国土交通大臣政務官
衆議院議員
吉田六左工門

新年明けましておめでとうございます。

日本作業船協会の皆様におかれましては、平素より国土交通行政、特に港湾行政に対して多大なご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、昨年9月の安倍内閣発足に伴い、国土交通大臣政務官を拝命いたしました。安倍総理の「美しい国」づくりに向け、微力ではありますが、これまで培った経験等を活かし、精一杯「ガンバル」所存でありますので、どうか宜しくお願い致します。

さて、社会資本の整備は、我が国が持続的に発展していくために、また豊かな国民生活の実現のために必要不可欠なものであります。特に、物流の要である港湾は、我が国産業の国際競争力の維持、強化や地方地域の自立、活性化にとって、大変重要な役割を果たしております。近年の経済社会のグローバル化や中国の急成長といった周辺環境の激変の中にあっても、港湾の重要性は益々高まっていると認識しております。このため、厳しい財政事情の中ではありますが、港湾の整備は着実にしかも強力に進めていく必要があり、これを通して国土交通行政の最重点施策でありま

す「国際競争力の強化」の実現に努めて参りたいと考えております。

また、昨年 of 災害や事故の状況を振り返りますと、港湾、海岸の分野だけでも台風、低気圧等による施設の被害や、長崎県への大量の流木の漂着、船舶の座礁事故など様々な災害、事故が発生いたしました。とりわけ、昨年11月に新潟東港で強風下発生したガントリークレーンの倒壊事故では、いち早く現地入りし、その被害の状況を把握いたしました。そして、緊急対応が必要と判断し、直ぐさま全国のクレーンについての総点検を指示し、安全確保に務めたところです。このように四面環海の我が国は災害を受けやすい国でもありますので、安全・安心基盤の確立を目指し、引き続きしっかりとした災害対応に取り組んで参りたいと考えております。

我が国経済がようやく明るい兆しが見えてきた中、今後とも国土交通行政の課題解決に邁進して参りますので、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって、さらなる発展の年となるよう心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶と致します。